

地域アクションプラン

～取り組みの成果と今後の方向性～【嶺北地域】

農業 林業 観光 その他

【資料4】

取組の成果と今後の方向性

◎総評
嶺北地域では、人口の著しい減少(H17:15,036人→H22:13,591人)と高齢化の進展(H17:43.6%→H22:46.0%)を踏まえて、各分野における担い手の確保・育成を最大の課題と捉え、中山間地域の豊かな地域資源を生かした産業の展開を図った。28の地域アクションプランでは、「れいほく」ブランドの園芸産地を維持するための研修の充実や、「土佐あかうし」生産基地の整備(H26)、大型製材工場の稼働(H25)などにより、新規就農者や新たな雇用の生まれた。また、大阪圏都市部(行政、民間団体)や県外の大学等と連携して、地域資源の掘り起こしや、新たな商品開発、販売促進活動の充実に取り組み、人的・物的交流も拡大している。

◎各分野の取組の成果と今後の方向性

- 農業分野
 - ・「れいほく八菜」等の園芸産地を維持し、新たな担い手を育成できた。今後は集落営農を推進することにより、中山間地域の農業を支える複合経営拠点の仕組みをつくる。
 - ・土佐あかうし、土佐はちきん地鶏、ユズ・米加工品等の生産体制が強化されたため、ブランド化とともに一層の販売促進に取り組み。
- 林業分野
 - ・大型製材工場の誘致や木質バイオマス加工施設の整備により、木材の生産や利用が拡大した。今後は、「森の工場」を中心とした事業体や担い手の育成及び間伐・皆伐の推進によるさらなる木材増産及び嶺北材の販路拡大に取り組み。
- 観光分野
 - ・県外大学等と連携して地域外誘客を促進してきたが、自然資源の活用にはまだ十分な可能性があるため、4町村連携による体制強化を図り、民泊の推進や旅行商品の開発及びPRの充実、体験型観光拠点の整備に取り組み。
- その他
 - ・4町村とNPOが連携した取り組みによって移住者が増加し、地域との交流活動が充実してきた。
 - ・農林業のインターンシップ事業や観光・交流事業との連携による生産・販売体制の整備や、地域資源を活かした6次産業化を一層推進する。

※地域アクションプランによる雇用の創出(H24～H26) 55人

主要な指標及び目標

項目	出発点(2期計画策定時)	目標(H27)	直近値(H26)
「れいほく八菜」の販売額	H22:2.2億円	H27:1.6億円	H26:1.6億円
「れいほく八花」の販売額	H22:1.1億円	H27:1.1億円	H26:1.1億円
「れいほく八恵」のユズ加工品販売額	H22:4.6億円	H27:6.0億円	H26:3.1億円
米粉等の販売額	H22:0.5億円	H27:1.1億円	H26:1.04億円
「土佐あかうし」の販売額	H22:1.9億円	H27:2.1億円	H26:1.5億円
「土佐はちきん地鶏」の出荷羽数	H22:5.1万羽	H27:10万羽	H26:5.2万羽
木材の素材生産量	H22:5.6万m ³	H27:15万m ³	H26:8.2万m ³
れいほくスケルトン(嶺北材の卸別販売)の出荷量	H22:新規	H27:900m ³	H26:744m ³
公共関連宿泊施設での宿泊者数	H22:9,687人	H27:12,000人	H26:11,461人

主な支援策の活用状況

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金 6事業 43,676千円
- ・観光拠点等整備事業費補助金 4事業 6,191千円(H24～26実績)
- ・専門家の派遣(産業振興アドバイザー事業) 12件、延べ32回

●米のブランド化による稲作農業の展開【本山町】
土佐天空の郷 <本山町ブランド化推進協議会、(財)本山町農業公社、ばうむ合同会社等>

取組の内容

- ・ブランド米の生産増、販路拡大
- ・ブランド米を活用した加工品(米焼酎)の開発、製造販売

主な成果

- ・ブランド米の販売額 3,120万円(H22) →3,708万円(H26)
- ・お米のコンクール優勝



今後の方向性

- ・生産者と生産量の増
- ・直接販売の増等による生産者価格の増

●JA出資型法人を核とする地域活性化の取組【土佐町】

農業の担い手育成 <JA土佐れいほく、(株)れいほく未来等>

取組の内容

- ・大阪圏の自治体及び企業等との連携による農業の担い手の育成(インターンシップ研修)
- ・新規就農研修支援事業による研修実施

主な成果

- ・都市部からのインターンシップ研修生受入 累計44人(H25取り組み開始～H26)
- ・新規就農研修支援事業による研修生 4人(H23事業開始)



今後の方向性

- ・インターンシップ研修終了後の就農支援の展開
- ・大阪圏自治体との連携強化

●れいほくブランドの園芸産地の維持【嶺北地域全域】
れいほくブランド <JA土佐れいほく(園芸部会、花卉部会)、直販生産部会土佐町支部>

取組の内容

- ・「れいほく八菜」担い手育成に向けた研修会の充実
- ・「れいほく八花」ノーブル由来の新品種の生産技術確立
- ・雨よけレンタルハウスの設置
- ・県内外の市場への販売促進活動

主な成果

- ・研修による新規就農者数 13人(累計)
- ・ノーブル由来の新品種の登録申請による新たな販売展開

今後の方向性

- ・地域農業の核となる担い手の育成
- ・れいほくブランドの確立



●(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組【大豊町】

碁石茶 <(株)大豊ゆとりファーム、大豊町碁石茶協同組合等>

取組の内容

- ・イベント出展等による販促活動
- ・県外商談会での商談

主な成果

- ・新規取引先 85社

今後の方向性

- ・茶葉や加工品の販路拡大
- ・固定客の確保・拡大



●土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興【本山町、大豊町、土佐町】

土佐あかうし <JA土佐れいほく、(株)れいほく未来等>

取組の内容

- ・畜舎整備(H24～H26)
- ・繁殖雌牛の導入
- ・繁殖活動
- ・子牛の飼養



主な成果

- ・繁殖雌牛導入数 14頭(H24導入開始)→39頭(H26) 累計64頭

今後の方向性

- ・繁殖雌牛及び肥育牛の増頭
- ・繁殖から肥育までの一貫した生産管理の徹底
- ・6次産業化に向けた取り組み

●大型製材工場の設置による地域材の利用の促進【大豊町】

高知おおとよ製材 <高知おおとよ製材(株)等>

取組の内容

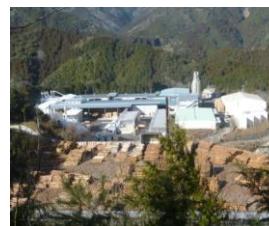
- ・工場の稼働(H25)
- ・本格稼働に向けた体制強化及び増産

主な成果

- ・雇用の創出 45人(うち長期45人)

今後の方向性

- ・地域内での原木供給体制の確立



●嶺北地域の連携による交流人口の拡大【嶺北地域全域】

県外都市部の大学等との連携

<嶺北地域観光・交流推進協議会>

取組の内容

- ・大学等と連携した旅行商品の磨き上げ
- ・地域産品を活用した新商品の検討・開発
- ・インターンシップを始めとする地域との交流

主な成果

- ・県外都市部の3大学と連携した取り組みへの参加学生数 累計186人

今後の方向性

- ・学生の企画・提案内容の実現に向けた協働による取り組み
- ・都市部の大学と地域の交流の継続、拡大
- ・協働する大学・専門学校等の拡大



●嶺北地域の連携による移住促進の取組【嶺北地域全域】

移住・定住促進 <れいほく田舎暮らしネットワーク等>

取組の内容

- ・れいほく田舎暮らしネットワークと4町村が連携し移住促進の取り組みを展開
- ・移住相談・空き家調査の実施
- ・移住体験ツアーの実施

主な成果

- ・移住相談件数 258件(H24)→383件(H26)(延べ956件)
- ・移住実績 55人(H24)→72人(H26)(累計214人)

今後の方向性

- ・事務局体制の強化
- ・移住希望者のニーズに沿った情報発信

